

校章・校歌

校章



資料が焼失したため、校章制定年月や由来は不明ですが、明治41年ごろ定められたと思われます。

知立の文字をもとにして雌雄の竜に抱かれるように「知」の文字を配したもので、知恵、知立の知が男女の師によってたくましく育つようお願いをこめて作られたものと考えられます。

竜（知立のりゅう）は昇竜の意味もこめ、デザインしたものでしょう。



左右の竜が細く、ほとんど同じ形です。

（昭和34年度卒業文集より）

校旗



知立町のときに使われていた校旗です。竜の間の文字が「知小」となっています。（昭和46年度卒業アルバムより）



知立市となり、校名が「愛知県知立市立」に変わっています。（昭和47年度卒業アルバムより）



現在の校旗。金糸と銀糸が使われ、華やかになっています。（平成2年度卒業記念品）

校歌

知立小学校校歌
 作詞 丸山 薫
 作曲 永見貞三

空はてしなく 野にみちる
 ひかりの中の まなびやに
 大気いっばい 胸に抱き
 われらはそらい 仲よくこぞる
 日に日にそだつ 若い子は
 知立 知立小学校

猿投の峯が よぶ朝は
 希望よ たのし この窓に
 ひとみあかるく みひらいて
 われらははげみ たがいにきそ
 おしえに智恵がはずみゆく
 知立 知立小学校

六年ははやし 春秋の
 はばたく歩み この庭に
 大地しつかり ふみしめて
 われらはいきみ きたえをこえる
 ふるきとおこす 意気を見よ
 知立 知立小学校

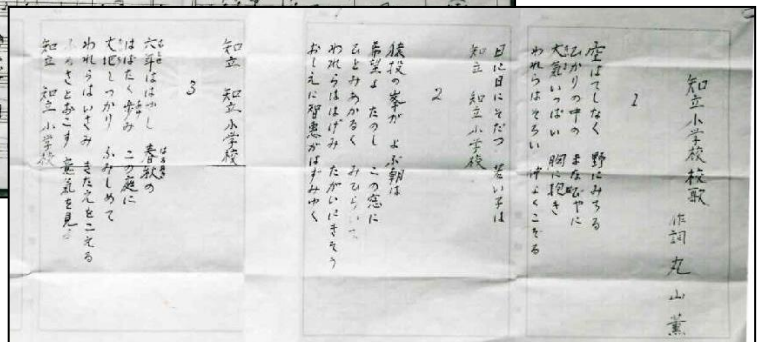
校歌発表会・ピアノ開鍵式



昭和37年3月23日、作曲者永見貞三先生による校歌発表会が行われました。学区内各方面からの寄付金によって新しく購入されたピアノの開鍵式も、併せて行われました。



← 永見先生直筆の楽譜



↑ 丸山先生直筆の歌詞